

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

佐賀で自分らしく暮らす人にお話を伺いました。

高塚 保光さん

(有)たつか 代表取締役
花屋 & カフェ「flower style Lazuli」
少人数ウエディング&リストランテ「flower style Rela」

PROFILE

佐賀市出身。元々両親が営んでいた生花業を受け継ぎ、婚礼の装花事業等に従事。その後2015年に花カフェのLazuli(佐賀市若宮)を、そして2019年に姉妹店のRela(佐賀市大財)をオープンした。事業内容としては、Lazuliが花屋事業、カフェ事業、アクセサリー販売事業、空間プロデュース事業など。そして Relaが少人数ウエディング事業、レストラン事業、インテリア雑貨販売事業、フォトスタジオ運営事業。2022年2月5日には、両店とも大幅リニューアルを実施。



— RelaとLazuliのリニューアル内容について

Relaは2019年12月に佐賀市大財にオープンして以降、しばらくはカフェのイメージが強かったかもしれません。実は当初から少人数制ウエディング事業をやるために作ったお店です。人々あつた「毎日がブライダルフェア」というコンセプトに加えて、お客様がお昼や夜に来られた時に結婚式がイメージできるような料理を提供しようというリニューアルのコンセプトです。ウエディング事業においては、オープンしてすぐコロナ禍になったのもあってその告知が難しかったのですが、ようやく結婚式のご依頼が少しずつ増えてきたので、式場としての位置づけを一層確立していくためにリニューアルすることにしました。具体的なポイントとしては、結婚式の料理をイメージできるようなフレンチのコース料理を提供するレストランに変えただけなく、新郎新婦が結婚式の料理を選べる際に料理にお二人のご要望をストーリーとして反映させられるようになりました。これは単なるメニューのアレルギー対応ではなく、常駐している当店のシェフが事前に新郎新婦さんとじっくり話をさせていただき、お二人の思いを具体的に料理に反映させるといいます。これによりオリジナリティ溢れる結婚式を可能にしています。今回のリニューアルは、今後10年スパンで事業を考えたときに、結婚式場としての基盤や軸を確かなものにするための大変なリニューアルでした。

それに対して Lazuliは2015年にオープンし、今年で8年目を迎えます。リニューアル内容の一つが、カフェエリアと花エリアと雑貨エリアの位置を変更した点です。お花の消費が全国的に下がっている中、もっとお花の良さを感じていただけたらと思い、お店に入ってきた方に花エリアを配置しました。そして右側にカフェエリア、左側に雑貨エリアを配置しました。あとは「花屋&カフェ」のイメージを強く打ち出さなければ、花の品種のラインナップを増やしたり、より特徴を出すために、花と親和性の少し高い紅茶に着目してフレーバーの紅茶を50種類用意したりしました。弊社の企業理念は「お客様に感謝を。衣食住花の融合」というものなんですが、Lazuliでは原点に戻って、もう一度お客様に花で感動してもらえる空間を提案することにしました。

— RelaとLazuliで大事にしていること。そしてこれから

Lazuliのお客さんは、元々は半分ほどが県外のお客様です。私は佐賀のマーケットで事業を進める上では、県内だけでなく他県からわざわざ来てもらえるお客様を増やすことも必要であると思っています。お客様のご来店の理由として、よく「他にはないお店だから」とおしゃれに話すことがあります。私は「グランド感」というのを大事にしています。それは「絶対そこに行かなきゃ」と思っていただくこと。それを圧倒的なものにするのを大事にしていて、例えばドライフラワーに関しては1万本、フレーバーの紅茶は50種類、アクセサリーは2500点、お花の数は50種類用意しています。一つ一つに選べる楽しさがあり、それで「グランド感」を作っています。もちろん、どちらの店舗も企業理念である「衣食住花の融合」という本質は共通しています。

— 花屋としてウエディング事業を始めた理由

私がウエディング事業をしようと思った理由は、お客様のリアルな感動に立ち会えるからなんです。私自身結婚式の装花事業には10年以上携わっており、結婚式当日に会場を華やかにすることは、新郎新婦と事前にしっかりと打合せをしてつくった装花の力が大きいと思っています。しかし私は朝に納品が終わると帰るので、式場での時間がほとんどない。そのため花を見てどのような表情をしていただいたら、感動の瞬間を見ることができないんです。それが若干寂しいなと思っていました。あと結婚式に行かれた方に「自分の前にあった花のことを覚えていらっしゃいますか?」という質問をよくするんですが、あまり記憶にない答える方が多いんです。料理については二次会でも話題に上ることが多いと思いますが、花が話題に上ることというのは少ないんじゃないかなという寂しさもありました。そこで思ったのが、「自分で結婚式場をやればお客様の感動を直接味わえるじゃないか?」ということ。これがウエディング事業をやろうと思ったきっかけです。

【INFORMATION】花屋 & カフェ「flower style Lazuli」 ☎0952-30-9423 ●佐賀市若宮1丁目10-37
少人数ウエディング&リストランテ「flower style Rela」 ☎0952-37-5529 ●佐賀市大財3丁目1-9

土日祝もOK!!

処方せん受付中

365日

溝上薬局本店

TEL 0952-22-7340
FAX 0952-22-7346
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

かわらばん 編集室

〒840-0826 佐賀市白山二丁目7-1 エスプラツツ2F
[特定非営利活動法人まちづくり機構ユマニテさが内]

365日

溝上薬局

0952-24-2555
佐賀市水ヶ江1-2-22 旧市民会館跡地
9時~19時(日・祝10時~19時)



溝上薬局

0952-24-2555

佐賀市水ヶ江1-2-22 旧市民会館跡地
9時~19時(日・祝10時~19時)



●アートディレクション・デザイン/松本健児(PINEBOOKS) ●イラスト/山本翔(YAMAHASHI DESIGN) ●ライター/清家麻衣子、草田彩夏、鈴木美弥子、田村史子、馬場早希、庄野雄輔、谷口幸惠

人とまちをつなぐローカルメディア

街なかかわらばん

TAKE FREE
さが

2022.5.15号

no.55

Machinaka Kawaraban

街なかのおすすめ空き店舗情報更新中!

www.kawaraban-web.com

「最近佐賀の街へ～ようこそ佐賀～ 引っ越ししてきた方へ」

新年度がスタートして1ヶ月ちょっと。この春佐賀にやってきた方も少しは新しい生活に慣れてきたころでしょうか。中にはまだ慣れずに苦労している方もいるかもしれません。そこで今回は「最近佐賀の街へ引っ越ししてきた方」向けに、市民ライターさんそれぞれの視点（例えば長年佐賀に住んでいる人、数年前に佐賀に転勤で来た人、佐賀にリターンしてきた人など）で、新生活をほんの少し豊かにする、佐賀の街なかオススメ情報を紹介しています。

01 県唯一の百貨店で非日常のお買物 佐賀の食の魅力を感じてみましょう！

玉ちか(佐賀玉屋地階食品フロア)



温泉県おおいたから佐賀県へ移住して10年。

同じ九州といえば、結構違いが多いことにもすっかり慣れてもう立派な佐賀県民だと思っています。10年で少しづつ街なかを楽しむスキルを身につけてきた私のオススメスポットは、佐賀玉屋。中でも地下の食品売場です（通称：玉ちか）。玉屋は昭和8年に呉服元町で開業して以来、今も幅広い支持を得ている県唯一の百貨店。佐賀を代表する様々な商品から全国の良品まで揃うので『迷ったら取り敢えず玉屋へ』という人も多いですね。

そんな庶民の強い味方である玉屋の地下は2エリアに分かれています。本館フロアは主に食品ギフト（酒類・菓子類・嗜好品）、南館フロアは生鮮食品が中心の品揃えです。食品ギフトフロアは、オシャレな手土産を購入したい、佐賀の良品を県外に贈りたいといった時にオススメ。子どもの日や母の日、クリスマスやバレンタインなどのイベント時はディスプレイも賑やかになり、一層目を惹く場所になります。計量販売の回るお菓子は子どもたちに人気だそうですが、大人でもワクワクしありますよね。

生鮮食品コーナーで人気が高いのは、魚介類コーナー。あまり知られていないかもしれないですが、鮮度はもちろん種類も豊富でお刺身はここでしか購入しないと断言する人もいるほどです。ちなみに、実は私は大分県の漁村育ち。朝に水揚げされた魚をすぐ捌いて昼食に頂くという生活をしていたので、鮮度の良い魚は一目で分かるんです。陳列されたものを見て、「魚嫌いの子供がここで購入したものなら食べてくれる」という知人の話にも納得できました。他にもジュースやカレー、チーズなど国内外からセレクトされた品が並び、眺めるだけ楽になります。日常の食事の買い物出しだけには勿体無い品揃えですので、ぜひ贈り物のや自分へのプチご褒美にも利用して欲しいです。

お客様に「玉ちかでしか目に出ないもの」をお楽しみ頂きたい」とフロアマネージャー。その言葉通り、いつも少し違う時間とショッピングを満喫できます！自分だけの「玉ちか推し商品」を見つけてみて下さいね。

【INFORMATION】
佐賀玉屋 ☎0952-24-1151 ●佐賀市中の小路2-5 ●営業時間／10:00~18:30 ●定休日／HPで確認
●駐車場／佐賀玉屋駐車場（駐車サービスあり）

02 飲んで泊まれる相談場所？ 地元の人が観光や暮らしの情報を伝えてくれます

HAGAKURE

ライター
草田 彩夏

店長の高瀬さん



佐賀市内のゲストハウスといえば、佐賀駅から徒歩5分ほど歩くと見えてくる「佐賀インターナショナルゲストハウス HAGAKURE」がおすすめです。今年でオープンから6年目。国際交流拠点として始まり、九州佐賀国際空港を利用できるアシアを中心とした外国人観光客や、大学生・社会人の引っ越ししまでの一時滞在としても利用されています。

2階のゲストハウスは、男女混合ドミトリーデザインではなく女性専用もあります。また最大3名まで宿泊できる和室もあり、グループでの利用も可能です。共用スペースには地元佐賀のグリメや観光情報がずらりと並んでおり、手にとれば佐賀に初めて足を踏み入れる人もオススメ情報をゲットできます。また、壁の黒板にはこれまでの宿泊者が書いたメッセージがぎっしりと刻まれていて、佐賀に訪れた縁を感じます。

階段を降りた1階は日本酒BAR(SAKE BAR)になっており、シーズンごとに揃えられた佐賀の酒が並びます。ぶらりと立ち寄った地元の常連さんと一緒に飲むなんてことも！そんな時は会話を弾んで地元ならではの情報を教えてくれることがあるかもしれません。

店長を務めるのは、大学をきっかけに佐賀に来て在学から開設に携わった高瀬さん。「観光はつい名所を巡る点の動きになってしまい、人と話さないこともあります。でも観光客の方はもちろんのこと、新しく佐賀に暮らしを移そうとしている人であれば、地元の情報を佐賀住民の人間から聞けることって貴重だと思います。滞在時に困ったことや悩みを相談できるような場所になって、その会話が佐賀の印象として記憶に残るといいなと思っています」。

実は私も移住者の1人。初めて佐賀に来て訪れたのが、このゲストハウスでした。「ここが美味しいよ、マスターが気さくだよ」と、美味しい場所や素敵な人を紹介してくれた会話の一コマが私の佐賀ライフへと繋がり、「優しい人の多い佐賀」という印象として今でも記憶に残り続けています。

【INFORMATION】
佐賀インターナショナルゲストハウス HAGAKURE ☎0952-97-7384 ●佐賀市神野東2丁目4-12 ●駐車場なし ●SAKE BARの営業時間／平日19:00~23:00、土・日曜・祝日16:00~23:00 ●宿泊予約はHPより

